

## 2-11 館山における地殻変動連続観測(1)

### Crustal Strain Observation at Tateyama Crustal Activity Observatory( 1 )

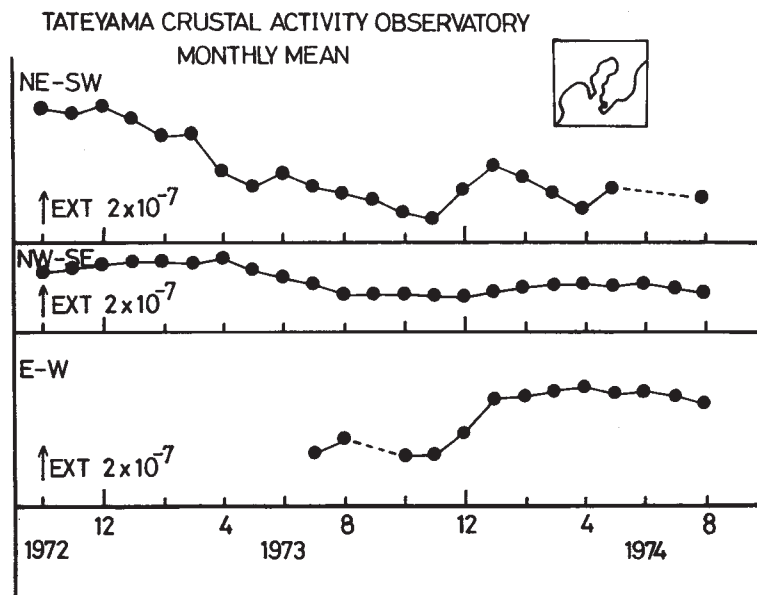
国土地理院地殻活動観察室  
Crustal Activity Observation Office,  
Geographical Survey Institute

館山地殻活動観測場では水晶管伸縮計3成分, 水管傾斜計2成分, フロート型自記水管傾斜1成分, TEM型傾斜計2成分による連続観測が行われている<sup>1)</sup>が, 1972年から2ヶ年間の伸縮計による地殻変動について報告する。

第1図に解析結果を示す。ここ2年間では大きな変動はなく, 南北に $1 \sim 2 \times 10^{-7}$  /年の割合でちぢんでいるようである。この傾向は鋸山地殻変動観測所の結果<sup>2)</sup>と大体一致している。

#### 参 考 文 献

- 1) 防災センターほか, 東京観測及び関東南部観測の中間報告, 連絡会報, 6 (1971),  
51 - 52
- 2) 東大地震研究所, 油壺・鋸山における地殻変動観測(その4), 連絡会報, 11 (1974),  
90 - 93



第1図 館山における地殻伸縮（月平均値）

Fig. 1 Crustal strains at Tateyama (monthly mean values).